理学部中央図書室による理学研究科教室図書室のサテライト化

令和7年8月21日
理学研究科図書掛現・前掛長

1. はじめに

理学研究科の図書室は、理学部中央図書室（以下、理中央）と6つの専攻/教室図書室（以下、教室図書室）の計7図書室から成る（次スライドの通り）。教室図書室は各専攻が設置主体であり、理中央の指揮系統にない。

2. 本企画の2つのファクター（R4年夏）

（ア）ある専攻から、「職員1人を雇用して図書室を維持することが困難です。図書室廃止の方向で考えたい」というご意向を伺った。
（イ）教室図書室によって提供サービスに違いがあった。

3. 対応策の検討

専攻になるべく負担をかけずに図書室を維持し、かつ、どの図書室でも標準サービスを担保する方法を探った。

4. かかげた理念――「理学研究科図書館」

北部には「図書館」がない。理学では元々“自主ゼミ文化”が根付いていることもあり、理学の7図書室を統合し、ラーコモなども備えた「理学研究科図書館」の新設がベストと思われたが・・・実現は困難。
⇒セカンドベスト：理念としての「理学研究科図書館」の運用（場所は離れていても理中央で一元管理）をイメージすると、「サテライト化」という答えが導かれた。

＜サテライト化前（R4年度現在）＞

理学研究科

- (A)理学部中央図書室 【3名体制:掛長1, 掛員1, 非常勤職員1 】
- 数学・数理解析専攻 — (B)数学教室図書室 【2名体制】
- 物理学・宇宙物理学専攻（物一、物二） — (C)物理学教室図書室 【1名体制】 R5.2任期満了
- 物理学・宇宙物理学専攻（宇宙物理） — (D)宇宙物理学教室図書室 【1名体制】 R9.3任期満了
- 地球惑星科学専攻 — (E)地球惑星科学図書室【1名体制】 R7.3任期満了
- 化学専攻 — (F)化学教室図書室 【1名体制】 R5.3任期満了
- 生物科学専攻 — (G)生物科学専攻図書室【1名体制】 R7.3任期満了

(C)～(G):
それぞれ1名体制、
R9年3月までに
全員が任期満了
予定

＜サテライト化後（R7年度現在）＞

理学研究科

(A)**理学部中央図書室**

【5名体制：掛長1, 主任1,非常勤職員1, **教室図書室担当支援職員2**】

- 物理学・宇宙物理学専攻（物一、物二） — (C)物理学教室図書室【R5.4サテライト化】 ①
- 物理学・宇宙物理学専攻（宇宙物理） — (D)宇宙物理学教室図書室【R8.4サテライト化予定】
- 地球惑星科学専攻 — (E)地球惑星科学図書室【R7.4サテライト化】 ①
- 化学専攻 — (F)化学教室図書室【R5.4サテライト化】 ②
- 生物科学専攻 — (G)生物科学専攻図書室【R7.4サテライト化】 ②
- 数学・数理解析専攻 — (B)数学教室図書室

- 支援職員1名が2図書室に出向し、開室を担当する（週2日ずつ開室）
- 図書委員会など管理・運営業務は掛長・主任・支援職員で協同して行う
- 休室日は理中央が窓口となって質問対応をする
- 各専攻所属者は休室日でも利用可能（ICカード入室、貸出）
- 数学図書室は2名体制なのでサテライト化の対象外

サテライト化の利点

- 図書室廃止を避けられた＝持続可能なあり方(ア)
- 資産図書の除却や移管が不要＝資料はそのまま留め置き(ア)
- 所属者の利用は現状維持が可能＝ICカードで常時入室可(イ)
- 設置の主体である各専攻の方針を踏まえつつ、理中央が運用を管理することでサービスの標準化が実現(イ)
- 職員の在・不在に関わらず常に窓口ができた(イ)
- 職員間の情報共有・意見交換がスムーズに(イ)

ふりかえると・・・

「理学研究科図書館」という理念をかかげたことで、運用方針が明確になったと思われる

謝　辞

一部局のローカルな動きにもかかわらず、このように目を留めていただき、図書館機構長受賞の運びとなりました。
誠にありがとうございました。

企画を進めるにあたって、理学研究科の図書委員会、事務部、北部共通図書掛など関係各部署にさまざまな相談をさせていただきました。いつも快く応じていただきありがとうございました。

どちらの部局もさまざまな制約の中で、最大限のサービスを提供しようと努力しておられることと思います。このような運用で持続可能な在り方もあるということの一例となりましたら幸いです。

令和7年8月21日
理学研究科図書掛現・前掛長